

作成：平成11年11月29日

改定：平成21年09月18日

MSDS No. U-0036-1

製品安全データシート

1. 化学物質等及び会社情報

製品名	浸透探傷試験用洗浄液 CUスーパーZ		
製品説明	炭化水素系洗浄剤（原液タイプ）		
会社名	株式会社 ユニケミー		
住所	〒456-0034 名古屋市熱田区伝馬1-11-1		
担当部門	技術部		
電話番号	(052)682-5069	FAX番号	(052)681-8646
緊急連絡先	同	上	

2. 危険有害性の要約

ヘプタン

GHS分類

物理化学的危険性

引火性液体	区分2
自然発火性液体	区分外
自己発熱性物質および混合物	分類できない
金属腐食性物質	区分外

健康に対する有害性

急性毒性(経口)	分類できない
急性毒性(経皮)	分類できない
急性毒性(吸入：蒸気)	区分外
急性毒性(吸入：粉塵、ミスト)	分類できない
皮膚腐食性／刺激性	区分2
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	区分2A-2B
呼吸器感作性又は皮膚感作性	呼吸器：分類できない 皮膚：分類できない
生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	区分外
生殖毒性	分類できない
標的臓器／全身毒性(単回暴露)	区分3(気道刺激性, 麻酔作用)
標的臓器／全身毒性(反復暴露)	区分2(肝臓)
吸引性呼吸器有害性	区分1

環境に対する有害性

水生環境有害性(急性)	分類できない
-------------	--------

水生環境有害性(慢性)

分類できない

ラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語

危険

危険有害性情報

引火性の高い液体および蒸気

皮膚刺激

強い眼刺激

(気道刺激性) 呼吸器への刺激のおそれ

(麻酔作用) 眠気またはめまいのおそれ

長期または反復暴露による臓器(肝臓)の障害のおそれ

飲み込み、気道に侵入すると生命に危険のおそれ

注意書き

安全対策

取り扱い注意事項をよく読み、理解してから取り扱う。

熱、火花、裸火などの着火源から遠ざける。

防爆型の機器を使用する。

火花を発生しない工具を使用する。

ミスト、蒸気などを吸入しない。

換気の良い場所でのみ使用する。

この製品を使用する時に、飲食又は喫煙しない。

適切な保護手袋、保護眼鏡、保護衣、保護面、保護マスクなどを着用する。

取り扱い後はよく手を洗う。

救急処置

吸入した場合；新鮮な空気の場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。気分が悪いときは、医師の処置を受ける。

飲み込んだ場合；ぬるま湯等を飲ませて吐かせる。直ちに医師の処置を受ける。

眼に入った場合；清水で注意深く15分間洗い流す。医師の処置を受ける。

皮膚に付着した場合；汚染された衣類および付着物を取り除く。皮膚を流水で洗う。気分が悪いときは、医師の処置を受ける。取り扱った後、手を洗う。

暴露した場合；医師の処置を受ける。気分が悪いときは、医師の処置を受ける。

保管

換気の良い冷暗所で保管する。

廃棄

内容物や容器は関係法令に基づき適正に処理する。

3. 組成, 成分情報

単一製品・混合物の区別		単一
成分名	:	n-ヘプタン
含有量	:	80%以上
化学式又は構造式	:	C ₇ H ₁₆
官報公示整理番号(化審法)	:	(2)-7
C A S N o .	:	142-82-5
国連分類	:	クラス 3. 2
国連番号	:	1206

4. 危険有害性の要約

分類の名称	引火性液体
火災・爆発性	引火点またはそれ以上の温度で引火性蒸気を発散する。
有害性	高濃度の蒸気は、目及び呼吸器官を刺激し、頭痛及びめまいを起こすことがある。誤飲すれば悪心、嘔吐、腹痛、下痢などを起こす。
環境影響	環境に排水（排出）した場合、環境汚染の恐れがある。

5. 応急措置

目に入った場合	直ちに流水で15分以上洗う。速やかに医師の診断を受ける。
皮膚についた場合	大量の水及び石鹸水を使用して十分洗い落とす。 痛みやかゆみが残る場合は、医師の手当を受ける。
吸引した場合	蒸気、ガス等を大量に吸引し気分が悪くなった場合、空気の新鮮な場所で安静にし、医師の診断を受ける。
誤飲した場合	水で口を洗浄し、ぬるま湯等を飲ませて吐かせ、医師の診察を受ける。

6. 火災時の措置

消火方法	①可燃物は、周囲より速やかに取り除く。 ②火災にさらされた表面を冷却する。人間を保護するために水噴霧を使用する。 ③適切な保護具(耐熱着衣)を使用する。
消火剤	炭酸ガス、泡、粉末などの消火剤を使用する。

7. 漏出時の措置

- ①付近の着火源、高温体等を速やかに取り除く。
- ②作業の際には、適切な保護具(手袋、保護メガネ、防毒マスク)を着用し、風上にて作業をし、他

の容器に残液を移し替える。

③漏洩した液は、土砂等に吸着させ、空容器に回収し、安全な場所に移す。

④付着物、廃棄物等は、関係法規に基づき処置をすること。

8. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	①火気厳禁、周辺での火気、スパーク、高温体の使用を避ける。 ②屋内作業上の場合、適切な排気装置を設け、換気を良くして取り扱う。 ③皮膚に触れないよう、目に入らぬよう適切な保護具を必要に応じて使用する。
保 管	①長時間直射日光下に放置しない。 ②通気の良い冷暗所に保管する。 ③その他消防法などの法令に定めるところに従う。

9. 暴露防止及び保護措置

管理濃度(作業環境評価基準:労働省告示第79号 平7.10.1)

n-ヘプタン：該当せず

許容濃度(日本産業衛生学会,1999年)

n-ヘプタン：200ppm

設備対策 必要に応じて局所排気装置を設ける。

保 護 具 保護メガネ、ゴム手袋、防毒マスク等

10. 物理的及び化学的性質

外 観	無色透明液体
臭 気	微臭
沸 点	98℃
比 重	0.684 (15℃)
溶 解 度	水：微溶

11. 安定性及び反応性

引 火 点	-4℃	
発 火 点	233℃	
自己反応性	なし	
爆発限界	上限：7%	下限：1%
安 定 性	安定	
そ の 他	特になし	

12. 有害性情報

皮膚腐食性	無し
刺激性(皮膚、目)	長期又は繰り返し接触する場合、刺激性がある恐れ有り。
急性毒性	データ無し

亜急性毒性	データ無し
慢性毒性	データ無し
変異原性	データ無し
生殖毒性	データ無し
催奇形性	データ無し

13. 環境影響情報

分解性等、本製品の測定データなし。

14. 廃棄上の注意

- ①事業者は、産業廃棄物を自ら処理するか、又は知事等の許可を受けた産業廃棄物処理業者もしくは、地方公共団体がその処理を行っている場合には、そこに委託して処理する。
- ②投棄禁止
- ③埋立処分を行う場合には、あらかじめ焼却装置を用いて焼却し、燃えがらとしての、総理府で定めた基準以下であることを確認しなければならない。
- ④焼却する場合、安全な場所で、かつ焼却又は爆発によって他に危害又は損害を及ぼす恐れのない方法で行うとともに、見張り人をつけること。

15. 輸送上の注意

- ①運搬に際しては、容器に漏れのないことを確認して転倒・落下・損傷がないよう、積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。
- ②指定数量以上の危険物を車両で運搬する場合は、自治省令で定めるところにより、当該車両に標識を掲げること。またその際、当該危険物に該当する消火設備を備えること。

16. 適用法令

消防法 危険物	第四類第一石油類
水質汚濁防止法	ノルマルヘキサン抽出物質排出規制(5mg/L) ノルマルヘキサン抽出物質として検出される場合がある。
海洋汚染防止法	油分排出規制（原則として禁止）
下水道法	ノルマルヘキサン抽出物質排出規制(5mg/L)
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	産業廃棄物規制（拡散、流出の禁止）
特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律（化管法：PRTR）	該当しない
労働安全衛生法施行令 別表9	通知対象物（No.524）に該当する。

17. その他

記載内容の問い合わせ先
(株) ユニケミー 技術部 TEL 052-682-5069

製品安全データシートは、危険有害な化学製品について、安全な取扱いを確保するための参考情報として、

製品を取り扱う事業者提供されるものです。この製品安全データシートは、各種の文献などに基づいて作成していますが、必ずしも全ての情報を網羅しているものではありません。

取り扱う事業者は、これを参考として、自らの責任において、個々の取扱い等の実態に応じた適切な処置を講ずることが必要であることを理解した上で、活用されるようお願いいたします。

また、含有量、物理的及び化学的性質、危険有害性などの記載内容は情報提供であり、いかなる保証をなすものではありません。